

市長とランチミーティング⑩ 伝統行事を活かした観光地づくりへ

第10回「市長とランチミーティング」は4月26日(火)に「石垣市観光協会青年部」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 今日の石垣市観光協会青年部の皆さんは若い方々です。アイデアと行動力にあふれていますので、貴重なご意見をいただいて行政側としてもどこまで一緒に協力できるのかという話になると思います。遠慮なくご意見をよろしくお願いします。

石垣島サンゴウィークを開催して

宮里部長 私達は3月5日から11日にエコイベントとして石垣島サンゴウィークというかたちで実施しました。石垣島から幅広く最南端のサンゴを守っていきましようという趣旨で大きく挙げる、ビーチクリーン、月桃苗の植樹、オニヒトデの駆除等の内容で、ゆくゆくは誘客事業にしていきたいと思っています。次回の開催は来年の5月の終わりから6月の初めはどうかと話に挙がっています。それに



向けて「石垣島に來ませんか？」というような戦略を今のうちから少しずつ進めて、「来年のサンゴウィークには石垣島に來てエコイベントをしたいね」というような方向に持っていくきたいと考えています。ま

た、他にもいろいろと考えています。

中山市長 今回、準備期間が短かったこともありましたが、インパクトはありましたね。

宮里部長 そうですね。スポーツや音楽のイベントは各地で行われていますが、エコイベントはあまり取り上げられていなくて。一週間にわたって開催することにすごいインパクトがあったんじゃないかと思っています。

部員 最初は6月に行われるダイビングフェスタに合わせてダイバーをターゲットに開催しようという話でしたが、一週間にした方が旅行商品になりやすいのではないかと、特定のお客さんではなくて、幅広いお客さんが来れるんじゃないかと、いろいろと意見があり、3月5日がサンゴの日ということとで一番いいのではないかということとで実施しました。次回は3月か、サンゴの産卵に合わせて5月も検討しながら実施していきたいと思っています。新空港開港に向けていろんなイベントが出てくるのでバランスを取りながらと考えています。

中山市長 今回は全体的なアピール度が少し足りなかったのか

なと思います。おもしろいイベントでいろんな企画が入っていたので、もったいなかったと思いました。

漢那副市長 サンゴという環境のシンボリックなものを捉えているので、とてもいいなと思います。新石垣空港で30数年間、迷走していたのは白保のサンゴです。石垣島は、やっぱり環境を大切にしているというメッセージが全国に発信されていると思います。

上地観光交流推進課職員 沖縄県の環境保全促進事業という100%もらえる助成金事業があります。観光部門ではないですが、サンゴウィークのイベントには活用できる事業です。平成24年度に実施するものは、今年の10月までに申請することになっています。

中山市長 修学旅行に関してですが、サンゴの環境保全等のプログラムは作れませんか。どの時期に來ても講演会やサンゴの現地視察、ビーチクリーン等、サンゴや海関係のことを全部勉強できる内容で、窓口を一つにして依頼者のプランにセッティングしてくれるところがあればいいですね。

前津さん このイベントを通して横の連携がとれるようになり

**新企画！
伝統行事見学ツアー**

市長とランチミーティング

宮里部長 今回初めてハーリー、豊年祭、旧盆アンガマを現地オプショナルツアーとして実施します。ハーリーは説明を含めた案内ができればと思っています。その前に勉強会をして充分な準備態勢を整えてツアーを実施したいと考えています。この活動は観光という切り口が深くなるのではと思っています。

前津さん 旧盆の前、新聞にアンガマの訪問先が掲載されまです。それに合わせて来たいという観光客がいますが、訪問先への行き方がわからないという声があります。

中山市長 予定している見学ツアーで、ホテル単位で募集し、ガイドしながら連れて行くというのはどうですか。

前津さん 今、作成中ですが、白保と大浜に関して、路線バスを使い、バスを降りた後からツアーガイドをする内容です。この中に平得、真栄里の豊年祭や旧盆の要項が出来上がるものと考えています。

小笹観光交流推進課職員 このような生のコンテンツをどういうふうにお金を払ってもらえるようなところにもっていくか。2時間で3千円、4千円払っても満足できるようなフォームを作る作業が必要だと思います。着地型で現地ではできないようなコーディネート、それを横に繋ぐようなプラットフォーム作りみたいなものを作りたいと思っています。

漢那副市長 伝統行事ですから当然、伝統を尊重することですね。その上で観光客にどう見せていくかということですね。

米盛さん 豊年祭ですと、地域によってやり方が違うだろうし、意味合いも変わってきます。見学ツアーで回ると相当深い部分まで感ずることができると思っています。

本村さん 私の旅行会社でも伝統行事の見学ツアーという話はどうですか。やっぱり魅力的なものじゃないかなと思います。ただ、商品化がネックになっていて具体的に企画はできていない状況です。

漢那副市長 そういう伝統行事は宝庫のようにたくさんありますから、まずは最初にやってみる大きな価値はあります。

効果的な誘客イベントは何か？

米盛さん 私の勤務するホテルで大浜、平得、真栄里の旗頭を出演したことがあります。競らしてやると、ものすごく盛り上がりがあります。沖縄本島で全島旗頭大会がありますが、この予選として石垣島大会を開催し県大会出場となると盛り上がると思います。

赤嶺さん 私の勤務する会社のグループ会社で沖縄本島に琉球村という施設があり、各地の旗頭やエイサーオーラセーというイベントをやっています。しか

し、観光施設に地元のお客さんを寄せることが難しく、思うように成功していません。

宮里部長 私はモーリーグランプリ。モーリーNo.1というものをあたためています。例えば、素面の部とほろ酔いの部。ほろ酔いの部はビール1缶飲み干した程度で踊ります。参加は老若男女問いません。どれだけ心が強いかがですね。若者やおじさん、おばさんのいろんなモーリーのグランプリです。

前津さん 沖縄本島では余興のグランプリがありましたね。二ービチ余興王者決定戦、これを海開きに予定していましたが、いろいろな事情でできませんでした。

中山市長 以前から考えているんだけど、とうばらーま大会のようなかたちでBEGINや、夏川りみの曲から課題曲を決めて同じ曲を歌って誰が1位か、という大会を石垣島まつりとかでやってみたら面白いと思っています。

宮里部長 いいですね。それから離島のイベントに、いろいろとリンクしたいと思っています。

島仲さん 離島のイベントは年々参加人数は増えています。黒島牛まつりや船浮音祭りとか、不思議なほど爆発的に増えています。離島のパワーは何か、探つて真似してみたいです。

中山市長 離島のイベントは内容がわかりやすいからでしょうか。部員 離島のイベントはリピーターの力が大きいです。ブログ

やツイッターのネット配信の効果があり、島自体が大きく広告を出していかなくても参加者が集まっています。

漢那副市長 県でも文化観光スポーツ部として文化をつけた部ができました。今までは青い空、きれいな海ということでしたが、伝統文化を活用して文化力をアピールし、我々はもっと自信を持つべきだと思います。石垣島だけではなくて、日本全体の財産ですからたくさんの方に観てもらいましょう。

中山市長 今日は皆さんの意見がどんどん出てきました。みんなの意とするとところは一つであって、今ある石垣の素材、自然や海とか、環境の部分だけではなく文化も使つて活かしていきたい。今まで見逃していたというか、うまく利用できなかった豊年祭やハーリー、アンガマ、そういったものを今後どう素材として料理していくかが必要になります。今年、取り組んで試みに実施して、それがうまく回りの対象を探し、大々的に実施するとか、ツアー会社売り込むことをやらないといけないだろうと思います。着地型の部分でこちら側でどうコーディネートするかということも必要で、それができれば旅行会社にもツアーの提案ができます。今後とも共に検討しながらやっていきましよう。今日はありがとうございました。